

議事録

会 議 名	第1回港資源化センター運営業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	令和6年12月3日（火） 午前10時～午前11時30分
開 催 場 所	港区役所 9階 913会議室
委 員	<出席者> 5名 青柳委員長、太田副委員長、足立委員、柳井委員、佐藤委員 <欠席者> なし
事 務 局	環境リサイクル支援部みなとりサイクル清掃事務所
会 議 次 第	1 開会 2 委員の委嘱 3 委員の紹介 4 委員長の選出等 5 議 題 ① 委員会選考スケジュール（案）について ② 募集要項（案）、仕様書（案）、選考方針（案）及び採点基準（案）について 6 その他 7 閉会
配 付 資 料	<配付資料> 資料1 港資源化センター運営業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 委員名簿 資料3 委員会選考スケジュール（案） 資料4 募集要項（案） 資料4－2 募集要項（案）別紙1 仕様書（案） 資料4－3 募集要項（案）別紙2 事業候補者選考方針（案） 資料5 採点基準表（第一次審査）（案） 資料6 採点基準表（第二次審査）（案） 参考資料 様式集（様式1から様式7まで） 参考資料 港資源化センターリーフレット 参考資料 港区家具のリサイクル展の運営に関する要綱
会議の結果及び主な発言	
（発言者）	1 開会 2 委員の委嘱 3 委員の紹介 4 委員長の選出等 青柳委員を委員長、太田委員を副委員長に選出。

	5 議 題 ① 委員会選考スケジュール（案）について （事務局説明）
A委員	第3回選考委員会は2月19日になっていますが、総務課と調整した上でこの日程となっていますか。例年、港区定例議会の本会議もしくはその調整がありますので、参加が難しい可能性があります。
事務局	総務課と調整したわけではありませんが、港区定例議会と委員の皆様の日程をふまえ調整しました。 要綱上は、過半数の出席をもって選考委員会は成立となります。
委員長	基本はこの日程で進め、日程変更が必要となった場合は事務局で再調整するというので、よろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
	② 募集要項（案）、仕様書（案）、選考方針（案）及び採点基準（案）について （募集要項について、事務局から説明）
B委員	2 業務概要 （3）履行期間について、長期契約を採用しない理由がありますか。長期契約のほうが契約の安定性が高まり、相手方もいい提案ができると考えますが。
事務局	区が契約をする際には、単年度契約が原則となっています。一部例外として、清掃業務や用務業務などについては、3年の長期で契約するものもありますが、この業務については、それらに該当しないため、単年度契約となります。
C委員	8 企画提案書等の提出 （5）提出部数について、提出資料のデータをCD-Rでの提出とする理由がありますか。電子ファイルの送付方法については、メールなどでの提出ではいけないのでしょうか。
事務局	区のセキュリティ上、電子メールでの提出の場合、ダウンロードができない可能性があります。 ただ、何か他の提出方法で対応が可能な手段があるか検討いたします。

	(仕様書案について、事務局から説明)
A委員	キャッシュレス決済について、現行事業者はどう対応していますか。
事務局	現在は、現金のみの対応となっています。
A委員	来年度からは、キャッシュレス決済に対応するということによろしいでしょうか。
事務局	そのように考えています。
B委員	I C T推進担当の想定する資格要件等がありますか。
事務局	特に想定している資格要件はありません。 キャッシュレス決済に対応できる従事者を受付などに配置することを求めています。
B委員	兼任でもいいのでしょうか。
事務局	兼任でも問題ありません。
B委員	12 その他 (15) について、製品プラスチックの再商品化業者はこれから港区が決めるので、それに関しての調整があるという意味でしょうか。
事務局	本業務はあくまで中間処理業務の委託までとなっており、再商品化業務委託はまた別の契約となります。 再商品化業務委託の実施にあたり、港資源化センター運營業務委託事業者には技術的な助言をいただきながら、一緒になり考えてもらうという趣旨です。
D委員	ハンディファンなどの電池を使っている製品で、圧縮をすると発火する事例がありますが、そういったものはどういう形で再商品化事業者へ引き渡しているのでしょうか。
事務局	資源プラスチックとして回収する対象ではないのですが、外見がプラスチックなので、資源プラスチックの回収物に混入してくることが多いです。 現場では、初期消火設備や熱感知器を活用し、発火、発煙を予防しています。

B委員	火災による物損が生じた場合の保険や補償などはどうなっていますか。
事務局	設備の補修が必要となった場合は、港区で対応します。
C委員	報告書類の提出が多いですが、手書きで作成しているのでしょうか。 提出はどのような方法でしょうか。
事務局	現場にインターネット環境が整備できないため、FAXを活用しながら提出しています。
C委員	転記ミスなどもあるので、効率化に対しての提案は求めないのでしょうか。
B委員	事務の効率化などの取り組みがあれば、審査で加点評価したほうがいいのではないのでしょうか。 提案に書いてもらえれば評価できますが、何も書いていないと評価ができませんので。
A委員	そもそも、インターネット環境が整備できない理由はどのような理由でしょうか。
事務局	当該施設の竣工時は、同一敷地内にある港清掃工場とともに東京都の施設でした。 そのため、電話回線の設備が港清掃工場内にあるため、区が単独でインターネット環境の整備を進めることができない状況です。
A委員	インターネット環境の整備ができない理由を明確にしたうえで、事業者にも効率的に働いてもらったほうがいいと思います。 仕様書には追加することはできませんが、検討をお願いします。
委員長	インターネット環境の有無にかかわらず、事業者として、事務の効率化を提案してもらおうということによろしいでしょうか。
各委員	異議なし。 (選考方針案について、事務局から説明)
C委員	この評価項目は公開されますか。

	事業者は、これを読んだうえで提案書を作成するということでしょうか。
事務局	公開のうえ、公募します。
A委員	プレゼンテーションですが、説明が15分、質疑が15分となっていますが、事業者の本当の姿を見るには、説明の時間を削り、質疑を20分にしたいほうがいいと思います。
C委員	評価の視点ですが、作業の効率化やミスを減らすという観点の言葉が少ないと思いますので、事務の効率化等の言葉を入れていただくほうがいいと思います。
事務局	修正します。 (採点基準表について、事務局から説明)
A委員	地域貢献活動項目については、委員の採点基準表には記載されないのでしょうか。
事務局	第一次選考の採点をまとめた資料を、第2回選考委員会にて配付いたしますので、その際には地域貢献活動項目における加点の有無がわかるよう資料を調製いたします。
E委員	2点あります。 資料4-3の「3 評価項目、評価視点」にある「主な評価視点」と、資料5の「評価基準」について、「資源の中間処理」の項目の文言を揃えたほうがいいです。 もう1点は、各項目の評価係数の差について、理由を説明してください。
事務局	1点目の、資料5の評価基準については、資料4-3に揃えて、詳しく記載いたします。 2点目の、評価係数については、まず、事務局採点項目よりも委員採点項目の点数配分を大きくするというを前提として考えております。 そのうえで、主に安全安心に資源の中間処理を行う業務が港資源化センター運営業務委託の核となる業務と考え、家具のリサイクル展に比べて評価係数を大きくしています。
E委員	資源の中間処理と家具のリサイクル展の評価係数に、あまり差がないように感じ

	ました。 安全のところを重視しているのだということはわかりました。
B委員	価格の評価という点について、普通は価格の評価割合はもっと高いと思いますが。
C委員	事業上限額からのマイナス額が大きいほうが安くなっていますが、今は様々なものが値上がりしており、人件費も上がっていると思います。
事務局	価格が低すぎて実効性を伴わないということを理由に、マイナス評価とする評価基準で実施しているプロポーザル選考もあります。 事業上限額に対して、低すぎる場合の評価については再考します。
D委員	この価格以下は一律ではねるという基準はないのでしょうか。 区の方針はありますか。
事務局	本選考委員会の決定によります。
D委員	この事業上限額はどのように算出したのでしょうか。
事務局	現在業務委託をしている業者にヒアリングのうえ決定しています。
A委員	最低価格を設定して、それ以上に額が乖離している事業者を落とすという事例もあると思います。 事務局に調べてもらい、本件は、委員長預かりとして、委員長に了承を得た結果を、全員に情報共有し、募集をかけるという方法でいかがでしょうか。
各委員	異議なし。
C委員	資料6の質問回答の評価基準について、十分であり、きちんとした回答が得られなければ、評価は難しいので、「端的」ではなく、「十分」という表現に変更したほうが良いと思います。
B委員	3 評価項目及び評価視点 (2) 第二次審査の※について、「おおよそ2:1」とありますが、「おおよそ」は不要だと思います。
事務局	修正します。

	6 その他 （事務局から次回の日程について説明） 7 閉会
--	---